

# 長野県障がい者スポーツ推進プロジェクト (令和3年度スポーツ庁委託事業報告会資料)



パラスポーツの新しい波を起こそう！

〔ロゴに込めた願い〕

コンセプトは、「ユニバーサルデザインの一步先」

点字のPWNをモチーフにしたロゴデザインで、信州の空と木々の美しい  
信州・ながのを彩りと、長野から生まれる新しい波をイメージしています。

2022. 2. 16 Wed.

長野県健康福祉部障がい者支援課  
障がい者スポーツ支援係

# 1 地域が有する課題

## 現状

- ・スポーツを実施する障がい者が減少傾向
- ・パラスポーツに対する地域間の温度差が大きい
- ・障がい者スポーツ指導員の活躍できる場が少ない
- ・障がい者スポーツ競技団体の指導員・審判員不足

## 課題

障がい者スポーツ指導員・審判員等の人材の不足、活動の低迷、競技用具への専門性、指導者同士のつながりの欠如 など

# 2 目標

2028年に本県で開催される全国障害者スポーツ大会に向けて、選手発掘や育成が急務であり、同時にそれを支える指導員や審判の養成、障がい者が身近な地域でスポーツを楽しめる場所の確保、県民に対する障がいへの理解の促進を目的とした取組を実施し、パラスポーツを通じた共生社会づくりの実現を目指す。

# 3 事業の推進体制

障がい者スポーツを支援するための関係団体等により構成される「パラウェーブNAGANO実行委員会」を組織し、推進母体とした。（事務局は県障がい者支援課）

### 〔構成団体〕

長野県健康福祉部、長野県レクリエーション協会、障がい者スポーツ地域コーディネーター、長野県公民館運営協議会、長野県スポーツ協会、信州大学、長野県社会福祉協議会、長野県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会、長野県障がい者福祉センター、日本財団パラスポーツサポートセンター、長野県教育委員会スポーツ課、長野県障がい者スポーツ協会、長野県障がい者スポーツ指導者協議会、長野県スポーツ推進委員協議会

# 4 事業内容

課題解決に向けた取組みとして、障がい者スポーツを支える人材の養成と、障がい者がスポーツに取り組むきっかけづくりのために以下の取組を行う。

### 主な取組

- ①ボッチャ審判員養成講習会の開催
- ②総合型地域スポーツクラブを活用した障がい者スポーツ拠点づくり事業

### 関連する取組

- ①パラウェーブ広場の開催
- ②学校を対象としたパラ学の実施
- ③ボッチャ競技大会の開催

## 5 事業内容～主な取組～

### (1) ボッチャ審判員養成講習会の開催

県内でのボッチャの基盤強化とボッチャを通じた共生社会づくりの一環として、審判ができる人材を一人でも多く養成することを目的として開催

**内容**：長野県ボッチャ協会の2名に講師としてお越しいただき、午前は初級者向けに試合の流れ等を、午後は経験者向けにペナルティや珍しい事象について講習。

どちらもチーム分けをし、実践を行いながら実施。

**開催日**：東北信会場 令和3年11月13日(土)

中南信会場 令和3年11月20日(土)

**時間**：午前10:00～12:00 午後13:00～15:00

**場所**：東北信会場 県立武道館(佐久市)

中南信会場 塩尻市ユメックスアリーナ

**参加者数**：東北信会場 59名 中南信会場 43名

#### アンケート結果

Qあなたのお住まいの地域で、ボッチャをやってみたいというニーズはありますか。

回答	件数	%	どのようなニーズがあるか
ある	65	93%	地域の高齢者クラブやボランティア団体など 公民館・教育現場
ない	3	4%	ボッチャクラブ設立準備中
不明	2	3%	地域や身障協などで大会が行われるようになった 地区体協の行事
計	70	100	高齢者の体操教室でとても好評だった

Q今後、県からボッチャ審判員として依頼があった場合、審判を行いたいと思いますか。

回答	件数	%	いいえの主な理由
はい	53	76%	
いいえ	17	24%	体験教室レベルならいいが、大会レベルは自信が無い。 初めてなので、何回か研修を受けたい。 審判はハードルが高いのでお手伝いスタッフなどから経験を積みたい。
計	70	100	

Q本日の講習会はいかがでしたか。

回答	件数	%
満足	61	87%
やや満足	6	9%
普通	3	4%
やや不満	0	0%
不満	0	0%
計	70	100

来年度も研修を継続的に実施し、自信の無い方のフォローを行う必要がある  
また、今回の受講者名簿を基に、ハードルの低い小さなボッチャイベントを紹介し、参加してもらうことで経験を積んでもらうことが必要



#### 〔成果〕

ボッチャ審判員養成講習会を受講した方のうち35名が、ボッチャ競技大会「パラウェーブNAGANOカップ2021」での審判員として大会を支えてくれた。

## 5 事業内容～主な取組～

### (2) 総合型地域スポーツクラブ等を活用した障がい者スポーツ拠点づくり

身近な地域で気軽にスポーツ活動が行える環境を整備することを目的として、県内5つの総合型地域スポーツクラブに委託して、障がい者へのスポーツ体験会を行う「障がい者スポーツ拠点づくり事業」を実施。

#### ① 千曲アプリコットスポーツクラブ(千曲市)※ 2年目

**連携団体** いなりやま福祉会、市社会福祉協議会

##### 実施内容

##### (1) レクリエーション体験会

いなりやま福祉会の利用者を対象に、ボッチャ、スマイルボール、ダンス、風船バレーなどのレクリエーション体験会を実施

**日程** (10月～12月の水曜日に定期開催)

##### (2) 障がい者のスポーツ大会

障がい者とそのご家族や友人を対象に交流大会

(ボッチャ、風船バレー、バドミントン、卓球等)

**日程** 令和4年1月23日(日) 千曲市更埴体育館

**参加人数** 延べ160人



#### ② 大かえで倶楽部(北安曇郡池田町)※ 2年目

**連携団体** 安曇野レッズ、くわの木(福祉施設作業所)、  
長野県立安曇野養護学校

##### 実施内容

##### (1) レクリエーション・スポーツ交流

第1回 令和3年11月9日(火) くわの木利用者とボッチャによる交流

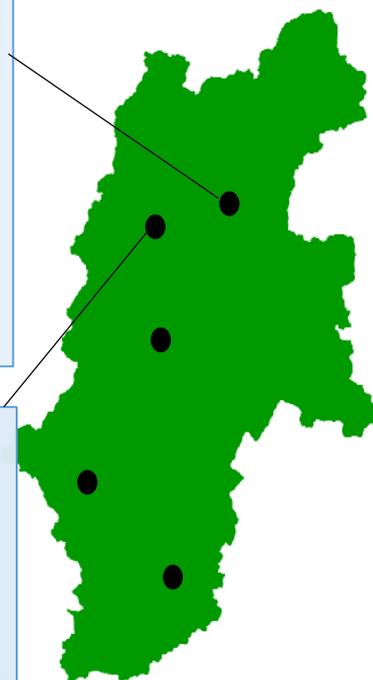
第2回 令和3年11月16日(火) 安曇養護学校寄宿舎生とボッチャによる交流

**参加人数** 45人(うち障がい者7人)

##### (2) フットベースボール体験会

令和3年11月28日(日) 池田町総合体育館にて安曇野レッズとクラブ  
会員のフットベースボール体験による交流会

**参加人数** 24人(うち障がい者10人)



## 5 事業内容～主な取組～

### (2) 総合型地域スポーツクラブ等を活用した障がい者スポーツ拠点づくり

#### ③NPO総合体操クラブWing(松本市)※2年目

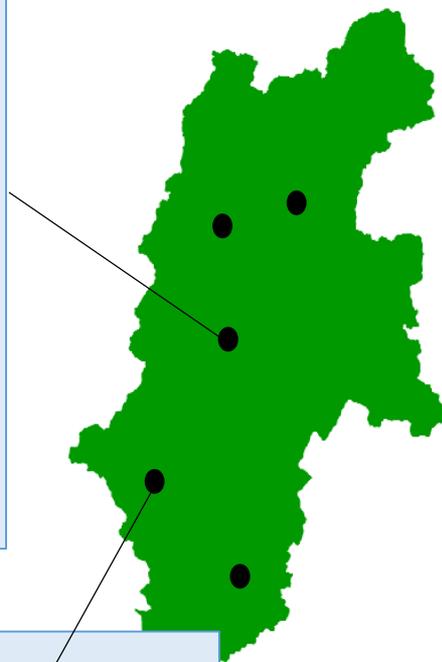
**連携団体** 日本ダウン症協会長野県支部ひまわりの会、  
療育センターみらい・らいふ

##### 実施内容

- (1) ダウン症児親子体操：親子で音楽に乗りながら  
道具を使って体を動かす
- (2) 放課後児童運動支援：多様な動きを引き出すた  
めに、音楽や道具を使っ  
て体を動かす

**場所** 松本市内の体育館や施設等

**時期** 令和3年7月～令和4年2月にかけて定期開催



#### ④木曾ひのきっ子ゆうゆうクラブ(木曾郡上松町)※新

**連携団体** 長野県立木曾養護学校

##### 実施内容

水上スポーツサップ体験：長野県立木曾養護学校と連携し、生徒を対象に  
サップ体験を実施

**場所** 長野県立木曾養護学校プール(木曾郡木曾町)

**時期** 令和3年7月7日(水)～令和3年7月16日(金)にかけて3回実施

※新型コロナウイルスの影響で6回→3回に変更

**参加人数** 17人



## 5 事業内容～主な取組～

### (2) 総合型地域スポーツクラブ等を活用した障がい者スポーツ拠点づくり

#### ⑤ たかぎスポーツクラブ(下伊那郡喬木村)※新

**連携団体** 長野県立飯田養護学校、サンスポート駒ケ根

#### 実施内容

卓球・ボッチャ (小中高校生向け)

S T T (視覚障がい者向け)

フットサル・ボール運動 (小中高校生向け)

**場所** みんなの広場アスポ (下伊那郡喬木村)

**日程** 令和3年7月～令和4年2月にかけて、それぞれ月1回定期開催



#### 効果

- 障がい者スポーツを取り入れたいクラブへのきっかけづくりとして有効
- 2年目のクラブは連携先や参加者の増加により地域に伝播
- 障がい者スポーツ用具の整備
- 身近でスポーツを行うことでスポーツ実施率の向上
- スタッフの障がい者スポーツに関する知識の蓄積

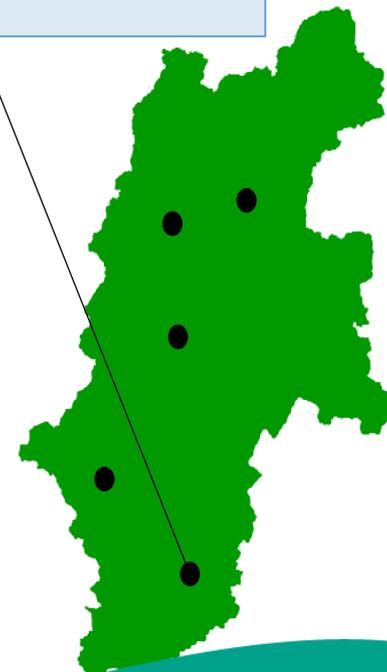
#### 課題

- 自立するには、まだ参加費だけでは賄えない(助成が必要)
- 障がいの特性は様々で、障がい児・者への対応技術を学べる場が必要
- 地域全体に広めたいが、利用者の体育館までの交通手段に困る
- たくさんの方に参加いただきたいが、その分配慮も必要な為、スタッフが少ないクラブには体制的に厳しい部分もある
- 新型コロナウイルスの影響もあり、軌道に乗るまでに時間がかかってしまう

#### 今後

今年度は、地域に偏りが無く本事業を受託いただいた。来年度も本事業を実施し、少しでも障がい者スポーツを取り入れるクラブが増えるよう手を尽くしたい。

また、2年目、3年目となるクラブは更に障がい者スポーツの拠点として地域で根付くよう、今年度得られた課題を踏まえ、改善策を検討していき、地域内で、行政や関係団体等との連携ができる体制づくりを支援したい。



## 6 事業内容～関連する取組～

### (1) パラウェア広場

大型商業施設内で一般の方向けにポッチャ体験やパラスポーツ競技用具の展示を行い、パラスポーツについて知ってもらうための体験型普及啓発イベントを実施

日時 令和3年10月9日(土)～10日(日)の2日間

場所 イオンモール松本店

来場人数 616人 250組

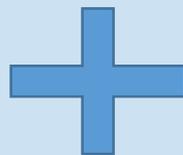


### (2) パラ学

公益財団法人日本財団パラスポーツサポートセンターと協働で展開する、座学、パラスポーツ体験及び出前授業等を通して、児童の「多様性」と「しなやかな心」を育むことを目的とした教育プロジェクト。今年度からスタート

#### 【座学「I'mPOSSIBLE」による授業】

パラリンピックを題材に共生社会への気づきを子どもたちに与える教材「I'mPOSSIBLE」を用いて、担当教諭が授業を実施。



#### 【体験型授業「車いすポートボールゴールチャレンジ」】

長野県出身のパラリンピアンが講師を務める車いすバスケットボール専用車いすを利用した、長野県独自のパラスポーツの体験型授業。



多様性、しなやかな心を育み、パラリンピックやパラスポーツの魅力や面白さを効果的に学習

#### 【実績】

- ・全26校 83クラス 1,689人が受講
- ・発表時には県内キー4局でのニュース放映に加え、新聞記事に掲載
- ・その他、TOKYO2020パラリンピック銀メダリスト藤澤潔選手(車いすバスケ)も講師として講演を実施



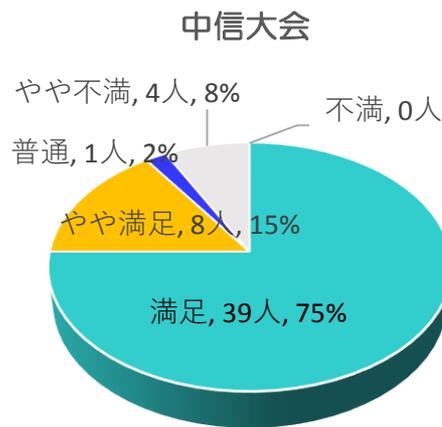
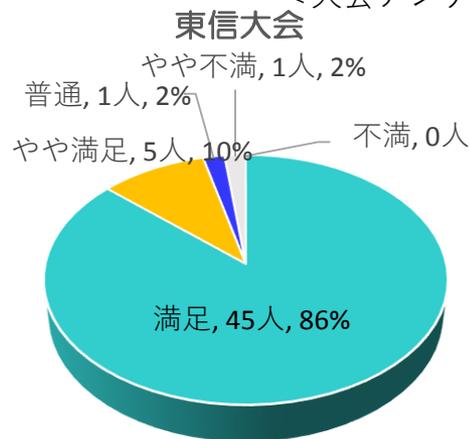
## 6 事業内容～関連する取組～

### (3) ボッチャ競技大会パラウェーブNAGANOカップ2021

性別や年齢、障がいのあるなしにかかわらず、誰もが一緒にボッチャを楽しむことで、地域での交流の輪が広がり、ともに支え合い、誰にでも居場所と出番がある共生社会づくりを進めることを目的とし、県内在住の小学生以上を対象にボッチャ競技大会を開催。

大会名	日程	会場	チーム数	人数
東信大会	令和3年12月11日(土)	長野県立武道館(佐久市)	35チーム	147人(35人)
中信大会	令和3年12月19日(日)	塩尻市ユメックスアリーナ	30チーム	137人(44人)
北信大会	令和4年3月12日(土)	信濃町立総合体育館(予定)	40チーム	201人(42人)
南信大会	令和4年3月13日(日)	飯田市鼎体育館(予定)	28チーム	138人(38人)
<県大会>	新型コロナウイルスの影響により中止			

<大会アンケート結果>満足度



## 7 今後の展望等

本年度は、昨年度に続き新型コロナウイルス感染症の影響を受け一部事業の縮小又は延期等を余儀なくされたが、十分な感染対策を施しできる限り手を尽くし事業を進めることができた。

コロナ禍での障がい者スポーツイベント等のありかたや、各事業を実施する中で得られた課題を検討しながら、今後も**地域内での連携構築による障がい者スポーツの環境づくり**、各競技を支える**指導者や審判員等の人材養成**を行い、引き続きパラウェーブNAGANOプロジェクトを進めていきたい。

所属	担当者	連絡先
長野県健康福祉部障がい者支援課 障がい者スポーツ支援係	主事 岡部 亮也	TEL: 026-235-7108 <a href="mailto:parawave@pref.nagano.lg.jp">parawave@pref.nagano.lg.jp</a>

The End